

気候変動と移民とのつながり： 国際法の視点

ブノワ・メイヤー

香港中文大学

<http://www.benoitmayer.com>

bmayer@cuhk.edu.hk

現状認識

- 気候変動が起きている
- 気候変動が人間社会に広範な影響を及ぼしている
- その影響は、多くの場合間接的なものである
- また、その影響は必ずしも新しい種類の事象とは限らない
- 気候変動は、これまで見過ごされてきた問題に対しても視野を広げるかもしれない

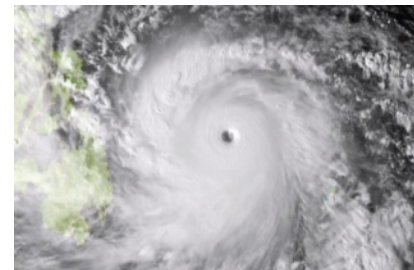
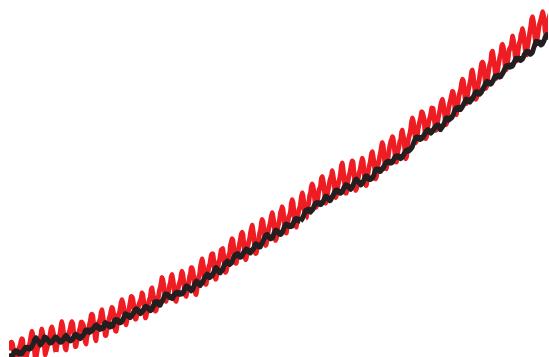


気候変動と移民とのつながり

- 気候変動は「人々の移住」に対し、様々な形で直接間接に影響を与えている
- 国内での、もしくは国境を超えての強制的移住を増加させる
- しかし、個々の移住のケースが気候変動によるものかどうか判断するのは一般的には不可能。移住は様々な原因の結果として起こる。

気候変動

気象イベント



社会的・経済的・政治的・人口学的要因

移住

脆弱性

物理的な影響



モンゴル： 遊牧民のウランバートルへの移住

- 気候変動→干ばつ・降雪（ゾド）→家畜を失う
→移住

しかし同時に

- 経済的移住
- 開発政策
- 社会的要因
- 文化表象



気候変動と移民とのつながり

- 「気候移民」に関する議論は国際的なガバナンスの欠落（ギャップ）ー（強制）移民/災害の影響を受けた人々の保護の失敗ーを明らかにした
- こういった欠落（ギャップ）は気候変動が問題になる以前から存在していた

気候変動と移民のつながりと法

1. 環境・気候変動法
2. 難民・移民・人権法
3. 気候移民に関する特定の条項

1. 環境・気候変動法

- 国境を越える深刻な環境破壊を起こさないという国家の義務
- 1992年国連気候変動枠組条約
 - 京都議定書
 - カンクンプレッジ
 - パリ協定
- 責任と賠償に関する議論
 - 気候変動への適応
 - 気候変動の影響により生じる損失と被害

2. 難民・移民・人権法

- 国際的な人権保護
 - 世界人権宣言（1948）
 - 市民的及び政治的権利に関する国際規約（1966）
 - 全ての移住労働者及びその家族の権利の保護に関する国際条約(1990)
- 難民の地位に関する条約（1951）
 - 条件”人種、宗教、国籍もしくは特定の社会的集団の構成員であることまたは政治的意見を理由とした迫害”
- 保護の拡大の議論
 - 国内避難民に関する指針（1998）
 - 「気候難民」や「生存のための移住」に関する条約？

3. 気候変動と移民に関する特定の条項

- 国連気候変動枠組条約締約国会議の決定文における言及
- 仙台防災枠組みにおける言及
- 協議会：

災害由来の越境的避難に関するナンセンイニシアティブ（2012-15）

災害による強制退去に関するプラットフォーム（2015～）

気候変動と移民に関する規範的議論の状況

- 環境・気候変動移民の保護に関する議論
- 移住を強いられた人々の人権保護に関する議論
- 安全保障上の脅威と、国益の防衛を軸とした議論

解決策は？

- 気候変動移民に関する問題は独立したものではなく、これまでも存在していたが取り組まれてこなかった問題をも顕在化した
- 気候変動緩和：パリ協定など一定の進展はあるが、不十分
- 移民の保護：さらなる努力が必要
- 気候変動と移民の問題は、国家アクターがグローバルな課題に取り組む困難さを顕在化

Thank you for your
attention!

ありがとうございました！

RESEARCH HANDBOOK ON
**Climate Change,
Migration and the Law**

Edited by
Benoît Mayer • François Crépeau

